

東海地域経済懇談会へ参加

～伊勢商工会議所 山野会頭が三重県連代表として発言～

東海商工会議所連合会、（一社）日本経済団体連合会、（一社）中部経済連合会の共催により、令和7年2月6日（木）『公正・公平で持続可能な社会を目指して』をテーマに、名古屋観光ホテルにて東海地域経済懇談会が開催され、三重県商工会議所連合会からは、伊藤会長及び専務理事、各商工会議所 会頭4名、専務理事8名が参加しました。

懇談会冒頭では、中部経済連合会（中経連） 水野会長から開会挨拶があり、続いて、日本経済団体連合会（経団連） 十倉会長から挨拶がありました。

懇談会は「テーマ1 活力ある地域づくり」と「テーマ2 産業競争力の強化」について、それぞれ問題提起と意見交換が行われ、三重県連を代表して伊勢商工会議所 山野会頭がテーマ1について『第63回式年遷宮を契機としたインバウンド戦略』と題して問題提起を行いました。



▲三重県連を代表し発言する山野会頭（伊勢）

山野会頭は、第63回式年遷宮を契機としたインバウンド戦略として、「伊勢志摩地域一体となって世界の富裕層の誘致に取り組み、伊勢志摩の唯一無二の価値を明確にし、全国及び世界に発信する。そのためには国際的に著名なコンベンションホールを有するホテルの誘致が必要」との意見表明をされました。

その後、経団連 副会長から「多様な人材の活躍」、「農業の成長産業化に向けて」、「持続可能でレジリエントな観光への革新」、「GXの推進」等について意見が述べられた後、東海商工会議所連合会 嶋尾会長が閉会挨拶を行い、懇談会は閉会しました。



▲懇談会の様子